令和８年度卓越した技能者「現代の名工」被表彰者（福井県関係）

<table>
<tr><td>氏名
（年齢）</td><td>吉田（よしだ）　豊一（とよかず）
（６２歳）</td><td></td><td>職種名</td><td>陶磁器製造工</td></tr>
<tr><td>所属</td><td colspan="4">豊彩窯（越前町平等４４－１１）</td></tr>
<tr><td>技能功績
の概要</td><td colspan="4">越前焼職人技のろくろ成形を継承し、その技術力は業界一。独自に「流嵌技法」という高度な技術を必要とする技法を考案し、高い評価を得た。県との共同開発により越前焼の強度を１．６倍にアップさせた。また地元ワイナリーとのコラボにより、地元の粘土質の土壌を活かした越前焼ワインボトルの制作に携わり、この商品が２０２４グッドデザイン賞を受賞。さらに大阪万博会場パビリオンに使用する越前焼クレイバーを地元小学生１５８名に指導し製作、国内外への伝統技能の PR に成功。

＜流嵌技法＞




＜越前焼ワインボトル＞</td></tr>
</table>

令和８年度卓越した技能者「現代の名工」被表彰者（福井県関係）

<table>
<tr><td>氏名
（年齢）</td><td>坂口（さかぐち）　俊博（としひろ）
（６０歳）</td><td></td><td>職種名</td><td>金属手仕上工</td></tr>
<tr><td>所属</td><td colspan="4">株式会社アイシン福井（越前市池ノ上町３８）</td></tr>
<tr><td>技能功績の概要</td><td colspan="4">仕上げに関して豊富な知識や卓越した技能を有し、機械加工とヤスリ仕上げによるミクロンレベルの高精度技能により、年間約３００件以上の工程改善や部品修理を行うなど、修正・復元から組立・調整・測定まで幅広く対応でき、特に組立調整や治具製作を得意としている。
令和２年に参入した技能五輪「機械組立て職種」において、令和７年全国大会で福井県初となる銀メダルを獲得する選手を育成支援するなど、長年にわたり幅広い層への高度技能を持つスペシャリスト人材の育成に尽力している。

＜見本品の製作＞
 

＜技能五輪出場選手への指導＞</td></tr>
</table>

令和８年度卓越した技能者「現代の名工」被表彰者（福井県関係）

<table>
<tr><td>氏名
（年齢）</td><td>部谷（へや）　保（たもつ）
（５７歳）</td><td></td><td>職種名</td><td>日本料理調理人</td></tr>
<tr><td>所属</td><td colspan="4">株式会社グランディア芳泉（あわら市舟津４３－２６）</td></tr>
<tr><td>技能功績の概要</td><td colspan="4">専門調理師免許の調理部門において、全国でも数人しかいない全６種類の免許を取得するなど、長年日本料理に従事して培った知識、技能を有している。
日本料理の伝統技術の一つとして知られる野菜の細工包丁技術に高度な技術を持っており、福井県マイスター会の活動にて日本料理のむきものを実演し多くの一般来場者に日本料理の伝統技術を体感して頂いている。
後進の指導育成では自身が勤務する会社の料理人を技術指導し、技能五輪全国大会にて銀賞・銅賞・敢闘賞の入賞に導く貢献を果たす。

＜平目の薄造りの技法＞


＜野菜のむき物、細工包丁＞




＜地産食材の盛り合わせ＞</td></tr>
</table>

令和８年度卓越した技能者「現代の名工」被表彰者（福井県関係）

<table>
<tr><td>氏名
（年齢）</td><td>山本（やまもと）　英樹（ひでき）
（５６歳）</td><td></td><td>職種名</td><td>木製家具製造工・
木製建具製造工</td></tr>
<tr><td>所属</td><td colspan="4">有限会社山本建具店（福井市照手３丁目９−２０）</td></tr>
<tr><td>技能功績
の概要</td><td colspan="4">組子細工および伝統建築の建具修繕分野において、第一人者として高く評価されており、神社仏閣等の修繕実績は主なものだけで３５件にも及ぶ。意匠性・耐久性・機能性を融合させた建具製作を得意とし、接着材や金物を用いず、継手・支口のみで大型建具を高精度かつ高耐久に組み上げる技術を有している。
首里城正殿復元整備工事にも携わるなど、全国的にも極めて重要な歴史的建造物の復元事業において、高度な建具技能を発揮している。
また、職業訓練指導員として、長年後進の指導育成に尽力。

＜白井邸吉原襖＞

＜作業の様子＞


＜後進への指導育成＞</td></tr>
</table>

２「現代の名工」について

（１）　趣旨

卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰するものであり、技能者の地位および技能水準の向上を図るとともに、技能の世界で活躍する職人や、技能の世界を志す若者に目標を示すものとして、昭和４２年に創設

（２）　表彰

毎年１５０名程度を表彰　（２１部門）

厚生労働大臣より表彰状、卓越技能章（楯および徽章）および褒賞金（１０万円）を授与

昭和４２年度の創設以来令和７年度（第５９回）の表彰まで全国で７，３７６名を表彰

【参考１】令和８年度「卓越した技能者の表彰」のデータ（全国）

・受章者数　　１４１名（うち女性１０名）
・平均年齢　　６２．５歳（うち女性６５．３歳）
・最高年齢　　８６歳
・最低年齢　　４０歳

【参考２】福井県関係の「卓越した技能者の表彰」のデータ

・被表彰者数　　９３名（うち女性５名）　※令和８年度被表彰者を含む。

・過去５年間の被表彰者

表彰年度	氏名（敬称略）	職種
令和７年度	市橋　清治	木製家具・建具製造工
	上田　浩人	和生菓子製造工
令和６年度	上坂　純也	内装仕上工
	川口　泰弘	日本料理調理人
令和５年度	髙橋　衛	こんぶ加工工
	加茂　詞朗	刃物製造工
	前田　宏枝	電気配線工事作業員
令和４年度	清川　肇	めっき工
	渡辺　和男	写真工
	竹内　道宏	一般器具機械修理工・検査工
令和３年度	熊野　佳彦	建築とび工